

平成28年度（第27回）日本大学薬学部学術講演会プログラム

日 時：平成28年11月5日（土） 9：00～12：20

会 場：日本大学薬学部8号館2階 821B

9：00～

開
換
会
場
講
演

<学部長 本橋重康>

9：05～

区分	開始時刻	講演番号	講演者氏名	題 目	座 長
萌芽探究	9:05	01	高 宮 知 子	ラン科セッコク属植物の包括的分類に基づく薬用資源の探索	三 浦 基 文
化学系	9:17	02	齋 藤 弘 明	ロジウム錯体/有機触媒系を用いる不斉カルベン挿入反応：水素移動シャトルを介する生成物の立体制御	
共同研究	9:29	03	飯 島 洋	酵素の生成物阻害を解除する物質の作用機構：迂回路モデルの提案と検証	
生 物 学 系	9:41	04	村 山 琮 明	<i>In situ</i> hybridization法のための <i>Aspergillus terreus</i> 特異的BNAプローブの開発	浅 見 覚
	9:53	05	和 田 平	Ahレセプターは脂肪組織における肥満依存性の炎症誘発を介して糖尿病発症に関与する	
	10:05	06	本 田 文 江	インフルエンザウイルス感染は細胞周期特異的である	加 藤 孝 一
	10:17	07	榛 葉 繁 紀	時計遺伝子BMAL1による骨格筋機能の制御	
10:30～10:50		コ ー ヒ ー プ レ イ ク			
医 療 薬 学 系	10:50	08	河 村 俊 介	調剤薬局における腎排泄型薬剤の適正使用を目指した薬歴管理と服薬指導	大 場 延 浩
	11:02	09	荒 川 基 記	メタボリックシンドローム想定患者における高血圧治療薬の使用実態研究	
	11:14	10	鈴 木 直 人	Coamorphous化によるメロキシカムの溶解性改善	荒 川 基 記
	11:26	11	進 藤 大 典	ヒト思春期相当期前開始の運動によるレガシー効果—遺伝性肥満モデルラットを用いた研究—	
海 外 報 告	11:38	12	エリック・スカイヤー	Observations on English Language Use during the Study Abroad Program at Portsmouth University: Notes on better preparing NUSP students in the future	張 替 直 輝
	11:50	13	草 間 國 子	平成28年度第1回海外臨床薬学研修報告：英国の薬学教育現場に触れて	
	12:02	14	廣 瀬 大	チェコにおける病原真菌の種及び遺伝的多様性調査（海外派遣報告）	

12:15 ～

閉
換
会
場

<学術講演会実行委員会委員長 山中健三>